

## 第73回(令和6年度) 横浜文化賞 受賞者決定！

横浜市の最高顕彰である「横浜文化賞」の今年度の受賞者が決定しました。

受賞者は、令和6年7月29日に開催された横浜文化賞選考委員会（委員長：近藤 誠一  
横浜市芸術文化振興財団理事長）において選考されました。

## 1 受賞者

## (1) 横浜文化賞

芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、  
その功績が顕著な方々

(部門別 50 音順・敬称略・年齢は9月18日現在)

部門	分野	氏名	年齢	職業等
文化・ 芸術部門	技能文化	おおさわ ひさし 大沢 尚	91歳	木工塗装士
	芸術	こいけ ひせん 小池 緋扇	96歳	日本人形作家
	芸術	ふじ たつや 藤 竜也	83歳	俳優
社会貢献・ スポーツ部門	医療	あきやま しゅういち 秋山 修一	65歳	医師
	産業	のなみ なおぶみ 野並 直文	75歳	株式会社崎陽軒 代表取締役会長

## (2) 横浜文化芸術奨励賞

文化・芸術分野において、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が  
期待される方々

(50 音順・敬称略・年齢は9月18日現在)

分野	氏名	年齢	職業等
芸術	かつら こ 桂 小すみ	51歳	おんぎょくし 音曲師
芸術	きつわ みゆ 橘和 美優	23歳	ヴァイオリニスト

## 2 贈呈式・記念コンサート

日程：令和6年11月21日（木）14:00 開式

会場：横浜みなとみらいホール 小ホール（西区みなとみらい2-3-6）

出演：LEO（箏アーティスト）

※贈呈式・記念コンサートに市民の皆様(抽選で250名)をご招待します！

(別添資料をご参照ください)

お問合せ先

にぎわいスポーツ文化局文化振興課長 鬼木 和浩 Tel 045-671-3703



GREEN x EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## 横浜文化賞

### — 【文化・芸術部門】 —

#### ○ おおさわ ひさし 大沢 尚 木工塗装士

木工塗装士、横浜マイスター。三越直営の家具工場である株式会社三越製作所に入社し、木工塗装の技能を習得。定年退職後、さらに自分の技能を高めたいと南区別所に木工塗装を手掛ける大沢工芸を開業。木目を生かし、素地の特徴をつかんだ深みのある色調を作り出す技能が卓越している。

赤坂迎賓館「朝日の間」(テーブル飾、棚、椅子)、最高裁判所「大法廷」(法卓、椅子)等、極めて重要な案件を担当した。

神奈川県土建一般労働組合、職業訓練校等で後進の指導に尽力。市内小中学校での職業講話や体験教室を通して子どもたちに職人の魅力を伝え、市内における技能職振興に大きく貢献している。



#### ○ こいけ ひせん 小池 緋扇 日本人形作家

横浜市鶴見区に生まれる。小学生のころより日本人形を作りはじめ、横浜山手女子学園を卒業後、幼稚園教諭を経て人形作家となる。

こだいぎれ 古代裂のちりめん友禅を用い、江戸時代の暮らしや「粋」の文化をテーマに、日本人形を制作している。東京人形学院(現:一般財団法人人形美術協会)にて、60年以上に渡り人形制作を指導、人形師範の育成にも携わる。

江戸の文化を後世に残していきたいという思いから、今なお現役として、積極的に活動し、日本全国で展示会を開催するほか、地元の鶴見区でも「小池緋扇特別展」を例年開催するなど、長年にわたり地域の文化振興に多大なる貢献を果たしている。



#### ○ ふじ たつや 藤 竜也 俳優

横浜出身。日本大学芸術学部在学中にスカウトされて、1962年のデビュー以来、60年以上にわたり俳優として映画やテレビで活躍しており、存在感のある演技が高く評価されている。

80歳を超えた今なお、主演を務め、2023年「大いなる不在」で「第71回サン・セバスティアン国際映画祭 最優秀主演賞」を受賞。その他の作品等でも「第8回上海国際映画祭・最優秀主演男優賞」、「第45回ヨコハマ映画祭特別大賞」、「第33回日本映画プロフェッショナル大賞 特別功労賞」など数々の賞を受賞している。

また、現在も多くの人に歌い継がれている「横浜ホンキートンク・ブルース」の作詞を手掛けたことでも知られる。



## 一 【社会貢献・スポーツ部門】

---

### ○ あきやま しゅういち 秋山 修一 医師

1989年に中区尾上町に秋山眼科医院を開設以来、長年、地域住民の健康増進、公衆衛生の向上に貢献。中区医師会においては2017年から現在に至るまで会長として、指導的立場から会員医師の医術研鑽・地域の保健医療福祉の充実に貢献している。

外国籍の方が多く住む地域の特性をふまえ中区医師会医員の協力の下、日本で初の22か国の外国人来診問診表作成に携わるほか、やさしい日本語による日本文化を学ぶ機会を設けることや、子育て情報の提供、邦人との交流会の開催など、外国人支援にも尽力している。

また、関内まちづくり振興会会長として、コロナ禍における地元商店街などの地域活性化にも尽力した。



### ○ のなみ なおみ 野並 直文 株式会社崎陽軒 代表取締役会長

「真にすぐれたローカルブランド」を目指して、「名物・名所の創造」を経営理念に、1996年横浜駅東口に崎陽軒本店をオープン。更に2003年横浜工場を再整備し、工場見学者の受入れを開始。市内経済活性化や観光振興に寄与した。季節感のある弁当や、月餅などの新製品を積極的に開発し、地域の食文化の発展に貢献した。

2002年一般社団法人ボランティア協会(現在の公益財団法人よこはまユース)理事長に就任、青少年の育成に尽力。2006年、横浜商工会議所副会頭に就任し、横浜市内の中小企業への支援を中心に地域商業の発展に大きく貢献した。



## 横浜文化芸術奨励賞

### ○ 桂 小すみ 音曲師

横浜育ちの音曲師。都都逸等を唄う芸人として、伝統的な邦楽を三味線演奏で唄う正攻法の高座だけでなく、尺八やフルートを加えた洋楽演奏にも定評がある。留学経験を生かした邦楽と洋楽の融合は演芸鑑賞経験の有り無しに関わらず、多くの観客を魅了している。

30歳で落語芸術協会にお囃子として入会。45歳で音曲師に転向し、「桂小すみ」となる。転向後わずか4年で、音曲師として初の令和3年度花形演芸大賞受賞。

横浜にぎわい座等での出演に加え、市内の教育現場などで子どもに邦楽を普及する活動にも尽力。今後も他の追従を許さないユニークな創作活動が大いに期待される。



撮影:橘蓮二

### ○ 橘和 美優 ヴァイオリニスト

横浜市緑区生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。幼少より、全日本学生音楽コンクール全国大会入選、東京音楽コンクール第2位など、多くのコンクールで受賞を重ねる。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学を首席で卒業。在学中に青山音楽賞、卒業時に三菱地所賞等を受賞し、現在東京音楽大学大学院に特別特待奨学生として在学中。将来を嘱望される逸材として高く評価されている。

2023年には、数々の国際的名演奏家を輩出してきた、ロン・ティボー国際音楽コンクールにおいて第5位に入賞。

澄んだ音色と手堅い技巧により安定した演奏で人々を魅了し、更なる活躍が大いに期待される。



© Ayane Shindo

# 第73回 横浜文化賞 贈呈式 記念コンサート

250名様  
無料ご招待

[日時] 2024.11.21(木)

開場 13:30 / 開式 14:00 (16:00 終了予定)

[場所] 横浜みなとみらいホール 小ホール

[出演] LEO

[曲目] 宮城 道雄  
手事

半田 拡  
さくら替手5段

今野 玲央  
空へ

今野 玲央  
松風

※曲目は変更される場合があります。  
あらかじめご了承ください。

主催 横浜市



# 横浜文化賞とは

横浜市では、1952年度(昭和27年度)から、芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興などの文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々に「横浜文化賞」を贈呈してきました。また、1991年度(平成3年度)の第40回からは、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々に「横浜文化芸術奨励賞(旧・横浜文化賞文化・芸術奨励賞)」を贈呈しています。

## プログラム

第1部 式典

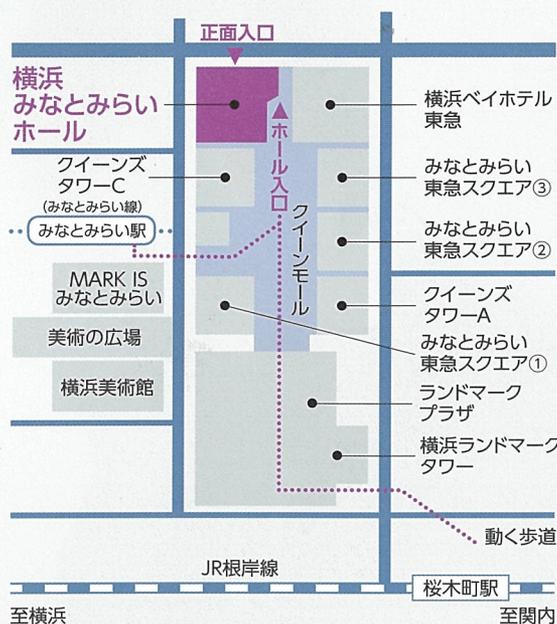
第2部 記念コンサート(約30分)

### ◆アクセス

横浜みなとみらいホール

横浜市西区みなとみらい2-3-6 クイーンズスクエア横浜

- みなとみらい線 「みなとみらい駅」徒歩3分
- JR・市営地下鉄 「桜木町駅」徒歩12分



## 記念コンサート出演者〈LEO〉



(c) Nippon Columbia

1998年横浜生まれ。9歳より<sup>こと</sup>箏を始め、カーティス・バターソン、沢井一恵の両氏に師事。

16歳でくまもと全国邦楽コンクールにて史上最年少で最優秀賞・文部科学大臣賞受賞。一躍脚光を浴び、2017年19歳でメジャーデビュー。同年、東京藝術大学に入学。「情熱大陸」「題名のない音楽会」「徹子の部屋」など多くのメディアに出演。セバスティアン・ヴァイグレ、井上道義、秋山和慶、東京フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団などと共演。

鈴木優人指揮・読売日本交響楽団との共演で、藤倉大委嘱新作・箏協奏曲を世界初演。また、箏奏者として初めてブルーノート東京でライブを開催、SUMMER SONICに異例の出演を果たしたことで話題を集めた。

2019年に出光音楽賞、神奈川文化賞未来賞受賞。2023年に横浜文化賞文化・芸術奨励賞(現・横浜文化芸術奨励賞)受賞。伝統を受け継ぎながら、箏の新たな魅力を追求する若き実力者として注目と期待が寄せられている。

## 申込方法

横浜市在住、在勤、在学の方対象で、お一人につき、2名様までのお申込みができます。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

### 1 電子申請・届出システムからの申込み

10月16日(水)までに右記の二次元コードからお申込みください。



### 2 はがきによる申込み

- 郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、希望人数(2名まで)を明記。
- 在勤・在学の方は、勤務先・学校名を記載。
- 手話通訳必要、車いすでの来場がある場合、明記。

※10月からのはがき料金にご注意ください。

**締切日** 10月16日(水)必着

**申込み先** 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10  
「横浜市にぎわいスポーツ文化局 横浜文化賞担当」  
TEL.045-671-3714

●抽選結果は、10月28日頃(予定)に当落に関わらず、全員にはがきでご連絡します。

※いただいた個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

231-0005	
横浜文化賞担当	横浜市中区本町6-50-10
行	にぎわいスポーツ文化局

(表面)

郵便番号、住所  
氏名(ふりがな)  
電話番号  
希望人数 ○人(2人まで)  
(市内在住でない方は)  
勤務先又は学校名

以下は、該当者の方のみ  
ご記入ください  
手話通訳必要  
車いすで来場します

(裏面)